

# 学生目線で活性化思案



## 葛西 理世さん

(松江市浜乃木7丁目)

島根大と島根県立大短期大学の学生が城下町・松江市の松江堀川遊覧船を通して地域の歴史を学び、魅力を発信する「みんなの堀川委員会」の委員長を務める。「県外出身者の声を取り入れ、いろんなアイデアを出したい」と意気込む。

高松市出身の県立大短期大学部1年生。入学から半年は遊覧船を知らなかったが「松江に来たからには、松江のことを知りたい」と委員会に入った。

堀川遊覧船は、鳥を間近で観察でき、武家屋敷を眺められるのがお気に入り。古里にある大名庭園「栗林公園」の周遊和船と魅力を比較したいと思いつく。

「心にゆとりを持てる時間になる」と遊覧船の醍醐味を語り、若者目線での活性化を思案する。19歳。

平成 28 年 1 月 11 日 付け ・ 山陰中央新報

紙上  
ブック  
トーク

先週から本格  
の上で寒さが本格  
的になるといわれてい  
る季節、小寒になりまし  
た。これから一年で一番寒  
い大寒に向かっています。

まだまだ寒い日が続きそうです  
ね。いやだなあと思うかもしれな  
いけれど、寒い時期しかできない  
遊びもたくさんあります。みんな  
この寒さを楽しんじゃいましょう！  
まずは「ねず  
くん とらくん  
のさむいさむい  
さむい」(たろ  
いしまこさく、え、福音館書店)の、  
ねずくんにとらくんと一緒に雪遊び  
しませんか？

### 雪遊び、スケート…温まるよ

ある朝、二人が起きると、外は  
一面の雪けしき。さっそく二人で  
まっしろな雪の上にあしあとを  
つけたり、雪合戦をしたりし  
て遊びます。だけど、ねず  
くんが凍った池をすべっ  
ていたら、氷が割れて  
池の中に落ちてし  
まったからさ

### 寒さを楽しもう

『あんな雪 こんな水』ほか

あ大変！さむいさむい！とらく  
んはあわててねずくんをいろんな方  
法で温めていきます。寒いけれど最  
後にはほかほか温かい、なかよし二  
人のお話です。

ている気分になれ  
る一冊ですよ。  
こんなふう寒い日を  
楽しくしてくれる雪や氷。  
実は遊ぶだけじゃなくて、見  
るだけでもとっても楽しいんで  
す。

雪遊びが終わったら、今度はスケ  
ートにでかけましょう。『楽しいス  
ケート遠足』(ビルダ・ファン・ス  
トックム作、絵、ふたとよし子訳、  
福音館書店)です。  
舞台は冬のオランダ。国中の運河  
や水路が凍りついて、長い氷の道が  
できるんです。この氷の道を使って、  
子どもたちと先生はスケート遠足に  
出かけます。女の子は先生のひくホ  
ールにつかまって、男の子は一人か  
誰かと組んですべって、一日がかり  
の冒険に出発です。読んでいくうち  
に、一緒にオランダの運河をすべっ  
ていきましょう！  
(永井三千・松江市立  
中央図書館司書)

トラモアの清泉八雲庭園であった、松江市が贈ったレリーフの除幕式。左がウォーターフォード市長、右が清泉凡さん（筆者撮影）



清泉八雲が滞在したトラモアの自宅で催されたランチパーティーのメインディッシュ（筆者撮影）

# 小泉八雲 育んだ国 アイerland 訪問記

＜川島典子＞

新しい年が明けた。  
筆者は今年、小泉八雲生涯のきりなき旅を待たから。三番閉じた年齢になる。果たして、男一女にも思われた。五十有余年の八雲の人生は、幸せだったのだろうか。  
少なくとも、日本に来てからの八雲は、幸福だったといえるのではないかと、彼は

## 実直さやおもてなしの心

松江で親切な人々に出会い、心を開いた。八雲は、日本に来てすぐに、高根原尋常中学校（現・県立松江高等学校）と鳥根興師範学校（現・鳥根大学の英語教師として、松江に赴任する。松江の人々の優しさは、父母の愛に恵まれたとしてしまったかと焦った。他の西欧諸国であれば、多分、そのまま留まっていたであろう。だが、売店の店主が案内所に届けてくれていて、カメラは無事

から16日まで八雲ゆかりの地から集まった約30名の人たちと共に、行った11日間のアイerland旅行の報告をしてきた。  
筆者がアイerlandに行くと、一番感動を受けたのは、この優しく実直な国民性と出雲に似た風景だ。  
第一話では、7日目に訪れた

アには、昨年6月にオープンした小泉八雲庭園がある。回廊で、10月10日に行われた八雲のレリーフの除幕式に出席したことは、すでに第5話で紹介した。オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン・ツアーの一行は、除幕式の翌日、八雲の大阪母の墓がある教会で米山麻実子によるパイオルガンリサイタルを聴いた後、八雲がトラモアで滞在した家を訪れている。ここでの歓迎ぶりには、忘れられない。  
貧乏家だった八雲の育ての親で大阪母のサラ・フレナンは、首都多ブリンだけでなく夏場の保養地トラモアにも別荘を持っていた。現在、その家はスイート・フレイアー・ロッジと呼ばれ、アラ・クロニンさんという女性が住んでいる。サラ・フレナンは、この家で晩年を過ごし、トラモアで亡くなった。  
アイerlandは、大西洋に面している。幼い頃に大西洋を見た八雲は、あの海がわくわくしているのだろうか。と思ったに違いない。  
やがて、その海を渡りアメリカに行き、太平洋を渡って日本に来た八雲。地球半周の旅をしたと誇り着いた日本には、神々の国出雲があった。  
松江にはトラモアの海の色に似た宍道湖があり、隠岐には故郷の地に似た風景がある。出雲の人々は、アイerlandの人々と同様に優しい。だから、八雲は松江を気に入ったのではないかと、出雲という国のありよう、人も風景も愛した。自分を含めたアイerlandにそっくりだった。  
だからこそ、彼は松江を愛したのではないかと、思えてなる。手作りの和菓子と日本茶などをアラさんに贈呈。和菓子は、アイerlandの園花シヤム（松江総合医療専門学校非常勤講師）

＝十箇日付で掲載＝



# 「お互い知る姿勢大切」

プログラムの成実や体験を発表する参加者



最終日の夜、青年たちとお菓子パーティー

県が2015年夏に実施した青年国際交流プログラムの活動報告会が23日、松江市朝日町の松江アルサであった。参加者が中国や韓国、ロシア、モンゴルの住民や若者との交流を通じて得た知識や貴重な体験を発表し、交流を重ねて相互理解を進める大切さを再確認した。

（平田智七）

## 青年国際交流報告会 得た知識や体験披露

プログラムは18〜30歳を対象に毎年開いている。昨夏は各国の若者を島根に招く「北東アジア交流の翼inしまね」と、県が友好協定を結ぶ中国・寧夏回族自治区に参加者を派遣する「青年交流の翼 中国プログラム」を実施し、県内からは大学生を中心に計10人が参加した。

報告会で「北東アジア交流の翼」に参加し、企画運営に携わった県立大総合政策学部3年の水木尚志さん（21）は、運営で悩んでいた時に外国人の参加者が声を掛けて助けてくれた出来事を回想。「意見を共有し、お互いの考え方や思いを知ろうとする姿勢が大切だと分かった」と実感を込めて

松江

話した。

中国プログラムに参加した。県立大短期大学部総合文化学科2年の松石諒子さん（20）は、いかだでの黄河下り体験やまの日常風景を写真を交えて紹介。「言葉をだけでなく、中国の文化や歴史に触れることができ、将来は日本の文化や魅力を伝えたい」と目標を語った。

報告会は県としまね国際センターが主催。国際交流員や市民らも来場した。

平成 28 年 1 月 24 日 付 け ・ 山 陰 中 央 新 報

### 総合文化学科Ⅱ日程 定員35人に109人受験 島根県立大短大

島根県立大学短期大学部（松江市浜乃木7丁目）は25日、大学入試センター試験を必要としない、2016年度の総合文化学科一般入試「Ⅱ日程」の受験状況を発表した。35人の定員に110人が志願し、109人が受験。倍率は3・1倍で、15年度に比べて0・3倍高かった。試験は23日に国語、英語、小論文で行った。合格発表は2月5日。

平成 28 年 1 月 26 日 付 け ・ 山 陰 中 央 新 報

# 4大学受け付け開始

2次試験  
願書

国公立大2次試験の願書受け付けが25日、各大学で始まった。山陰両県では島根大、鳥取大、島根県立大、鳥取環境大のうち、初日は3大学に26人が出願した。

(26面参照)

島根大は前期669人、後期202人の募集定員に対し、医学部と総合理工学部の前期試験に計8人が出願。前期701人、後期235人を募集する鳥取大は医学部と農学部で計9人が出願を済ませた。

275人の募集を開始した鳥根県立大は、短期大学部に9人が出願。前後期各85人を募集する鳥取環境大は初日の出願はなかった。

締め切りは鳥根県立大学短期大学部が1月29日まで

で、その他は2月3日まで。前期試験は2月25日から始まり、同県立大短期大学部のみ2月13、14の両日に行う。  
(佐々木一全)



トラモワの小泉八雲庭園内の日本庭園 (筆者撮影)



トラモワの小泉八雲庭園の除穢式で地元小学生の歓迎を受ける一行。左・真鍋晶子さん、右前列・小泉凡さん、右後列・栗林裕子さん (筆者撮影)

# 小泉八雲 育んだ国 アイランド

## 訪問記

<川島典子>

どうとうアイランドと別れ、アイランドに住み始めてすぐの日はやってきました。ギリシャで生まれ、アイランドに育ち、イギリスとフランスで学んだパトリック・ラフカディオ・ハーン。18歳の時、イギリスのアショー・カレッジ在学中に、遊園で左目を強打して失明したことが、生涯、彼に深い影響を与えた。アイランドに始まり、アイランドに終わった。

# 開かれた心学んだ旅

コング在住だった伯母キャサリン・エルウッドの子孫であるイモン・マーガレット・エルウの混血女性と入籍できない結婚

をやるものの難別。その後、西インド諸島のマルティニーク島で2年暮らし、39才の時に日本を目指す。明治29年のことだ。八雲は、日本に来て初めて暮らした松江の印象を「知られざる日本の面影」の「神々の国の首都」に鮮明に記している。――(前略) 天神様の社を越え、町はまた山で二分される。新土手川に架かっているのが、天神橋である。(中略) 二本の川に挟まれたその一帯は、町の中でも中略活気に満ちた繁華街であり(中略) 天神町と平行して、寺の並ぶ寺町がある。――



思えば、この旅は、実に困難めいた旅だった。団長で山陰日本アイランド協会会長の内藤守さんが経営する風流堂は、まさに八雲が描いた白鷺本町から寺町にかけて店舗がある。創業は八雲が来松した明治29年だ。天神町にはティ・セレモニーでお点前を披露した中村姉妹のいる中村茶舗がある。次女の方紀子さんと筆者の長男が生まれたのは、八雲が日本に来てからちょうど百年後のことだった。副団長の小林梓菜さん(89)は、八雲が赴任した島根師範学校の後身である島根大の前学長だ。アイランド文学研究者の真鍋晶子教授は、英語が堪能だったために八雲を横浜から松江まで案内し、出雲大社にも同行した真鍋頭という青年時代に、マナベアキまで名前の読みが同じだった。偶然にしては、筆者と同室だった栗林裕子さん(80)は、富山大学付属図書館図書情報課に勤務。富山大学

動講師) (松江総合医療専門学校非常)

おわり



山陰両県の国立

Table listing national universities in San'in region, including names, faculties, and enrollment statistics.

国立

Table listing national universities across Japan, including names, faculties, and enrollment statistics.

学部学科

Table listing faculties and departments of various universities, including names and enrollment statistics.

国・公立大学の志願状況

29日午前10時現在 鳥取大、鳥取環境大、鳥根大、鳥根県立大は午後5時現在

◇表の見方◇

- 1、「学部名」 (記) (一) (A) は昼間部。 (夜) (二) (B) は夜間部。 (フレックス) は昼夜併読。
2、「試験日程の区分」 前=前期日程 (試験開始日2月25日)、後=後期日程 (3月12日以降)、中=公立大中期日程 (3月8日以降)
3、「二段階選抜」 (1) 数字は募集人員に対し、選抜を実施する予定倍率 (2) 一部は実地内評を注記、「七試」は大学入試センター試験略
4、新設学部や統合された学部の前年倍率は「-」
5、表は一般入試の大学学部が対象。推薦などの特別入試や併日程で独自に試験を実施するものは含まない

Main table showing application status for national and public universities, including columns for university name, faculty, department, and application statistics.



# 情報BOX

イベント情報 情報BOXに関する問い合わせは TEL0852(32)3336 (平日午前10時～午後6時)

▼30日(土) 山陰中央新報主催「山陰県立高等学校入試説明会」が、山陰中央新報本社(山陰県松江市)で開催された。県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。入試説明会には、県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。入試説明会には、県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。

▼30日(土) 山陰中央新報主催「山陰県立高等学校入試説明会」が、山陰中央新報本社(山陰県松江市)で開催された。県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。入試説明会には、県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。

▼30日(土) 山陰中央新報主催「山陰県立高等学校入試説明会」が、山陰中央新報本社(山陰県松江市)で開催された。県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。入試説明会には、県立高校入試の概要や、各校の特色について、各校の代表者が説明を行った。

平成 28 年 1 月 30 日 付け ・ 山陰中央新報

## 山陰4大志願倍率 島根大前期は0.8倍

### 2次試験中間集計

山陰両県の国公立4大学が29日、2次試験の志願状況の中間集計を発表した。同日午後5時現在の志願倍率は、各大学とも、おおむね前年に比べてやや高い傾向となった。島根県立大短期大学部は同日、締め切った。その他は2月3日まで受け付ける。

(28面参照)

島根大の志願倍率は前期(募集人員669人)が前年同期比0.1割増の0.8倍で、後期(同202人)が0.1割増の2.1倍。最も高いのは教育学部後期(同20人)で、2.9倍だった。鳥取大は、前期(同70

1人)が0.2割増の0.9倍で、後期(同235人)は0.4割増の2.3倍だった。学部別では医学部後期(同44人)が4.0倍と最も高かった。

島根県立大は総合政策学部前期(同120人)が0.2割増の0.9倍で、後期(同25人)は0.9割増の1.7倍。前期日程のみの看護学部(同37人)は1.7割減の0.5倍で22人が出願した。締め切った短期大学部(同93人)は、確定前速報値で0.3割増の3.3倍だった。

鳥取環境大は前期A方式(同110人)が0.3割増の0.7倍、前期B方式(同40人)が横ばいの0.7倍。後期は3.5倍で前年同期を1.1割上回った。

(佐々木一全)

平成 28 年 1 月 30 日 付け ・ 山陰中央新報